

2013(平成25)年度事業報告 附属明細書

自 2013(平成25)年4月
至 2014(平成26)年3月

公益財団法人 日中医学協会

目 次

理事の補充選任	1
日中笹川医学協カプロジェクトの協定	1
日中医学協会のあり方検討委員会の設置	2
常任理事会（業務執行理事会）	2
委員会委員	3
事業報告	
ア 研究助成事業	
1. 日中笹川医学奨学金制度	5
1) 第 35 期研究者受入事業	
2) 日中笹川医学協カプロジェクト： 日中笹川医学奨学金制度（第 4 次・第 36 期生）研究者募集及び選考	
2. 共同研究等助成事業	6
1) 2013 年度助成金受給者	
2) 2014 年度共同研究等助成事業選考	
3. 中国人医師・研究者招請事業	8
イ 学術会議開催事業	
1. 主催事業	9
1) 日中医学交流会議	
2. 共催・後援事業	9
1) 日中笹川医学協カプロジェクト：学術交流会（共催）	
2) 2013 年度医学生のための漢方医学セミナー（後援）	
3) その他共催・後援事業	
ウ 日中医療協カ事業	
1. 日中笹川医学協カプロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業	10
2. 経済産業省の医療の国際化に係わる事業	12
3. 専門家派遣事業	14
4. 医療関連訪日者招請事業	14
5. 訪中団派遣事業	15
6. 乳幼児栄養交流事業	15
エ 広報事業	
1. 機関誌『日中医学』の発行	16
2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行	16
3. 中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信	16
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	16
委員会開催報告	
1. 事業計画・財務委員会	17
2. 共同研究等助成事業委員会	17
3. 日中医学協カプロジェクト及びその他医療協カ事業運営委員会	17
4. 広報委員会	18
総務報告	
I. 財務基盤の拡充について	
A. 会員拡大と募金活動	19
B. 日本財団に対する助成金申請	19
C. その他事業の検討	19
II. 協会運営に係る事項	
A. 各委員会の設置及び各委員の委嘱並びに各委員会規程等の改訂	20
B. 事務局の設置及び委嘱	20
C. 公益事業の拡充に係わる検討	20
D. 公益財団法人移行記念祝賀会の開催	20
別紙 日中笹川医学奨学金制度第 35 期研究者名簿	
別紙 役員等名簿	

理事の補欠選任

1. 理事の辞任に伴う補欠選任

羽生田 俊理事（公益社団法人日本医師会前副会長、参議院議員）から、2013年12月9日付で当協会理事の辞任届があったため、安達 勇理事長（代表理事）の提案により、第3回理事会（2014年1月23日）及び第2回評議員会（2014年2月12日）のみなし決議を行い下記の通り補欠選任した。

補欠選任者			辞任者	
氏名	役職	任期	氏名	役職
松原 謙二	公益社団法人 日本医師会 副会長	前任者の残任期間 (2015年度定時評議員会 の終結の時)	羽生田 俊	公益社団法人 日本医師会 前副会長 (現参議院議員)

日中笹川医学協カプロジェクトの協定

1. 協定書調印

2013年5月17日、北京・人民大会堂において日本財団と中国国家衛生和計画生育委員会(旧:衛生部、以下「衛生計生委」と略称)との間で「日中笹川医学協カプロジェクト」協定書が調印された。

(1) 次期制度協定の内容

事業名：日中笹川医学協カプロジェクト

事業構成：

①日中笹川医学奨学金制度（以下「笹川奨学金事業」と略称）

- ・ 中国側が応分の負担をして行う第4次5年計画
- ・ 期間：年間30名を限度として、2014年4月から2019年3月まで

②笹川医学奨学金進修生同学会事業（以下「笹川同学会事業」と略称）

事業内容：

ア) 中国国内研修事業

短期総合診療研修、短期診療技術/技能研修、中長期臨床研修

イ) ボランティア診療

ウ) 学術交流会

期間：2013年4月から2018年3月まで

2. 実施要綱調印

「日中笹川医学協カプロジェクト協定書」の定めに基づき、本プロジェクトの円滑な遂行を図るため、2013年6月13日、東京・ホテルニューオータニにおいて日中医学協会と笹川医学奨学金進修生同学会との間で「日中笹川医学協カプロジェクト実施要綱」を締結した。

日中医学協会のあり方検討委員会の設置

1. 委員会設置の経緯

- (1) 公益第2回理事会（2013年5月16日）第6号議案で、「中国の著しい経済成長や内外の環境変化により、協会の役割が変わりつつあるのも現実であり、新しい時代に対応すべく、協会の持続可能な方策を探り、30周年事業でそれを披露いたしたい」として、「協会設立30周年事業実行委員会（仮称）」の立ち上げについて、実行委員会の構成、委員の選任等については、理事長にご一任いただいた。
- (2) 第234回（公益第1回）常任理事会（2013年7月26日）で、安達理事長の提案により、この委員会では何を検討していくか、その性格を直接的に示すため、協会設立30周年事業実行委員会（仮称）を「日中医学協会のあり方検討委員会」として準備を進めることとし、委員及びアドバイザーを選任した（本委員会の設置については、公益第4回理事会で報告した）。
- (3) 本委員会は、財政基盤の確立からの検討/協会の目的（ミッション/ビジョン）からの検討/組織の運営管理からの検討を行うこととした。

2. 委員及びアドバイザー

- (1) 委員：江藤一洋業務執行理事、尾身 茂理事、近藤達也理事
委員の互選により、尾身 茂理事を委員長に選定した。
- (2) アドバイザー：高久史磨副会長・理事、林 謙治業務執行理事、庄田 隆評議員
庄田 隆評議員は第236回常任理事会（2013年12月13日）で選任した。
- (3) 任期：2013年8月から2015年9月まで（開催頻度は2か月に1回程度）。

常任理事会（業務執行理事会）の開催

開催年月日	議事事項	会議の結果
2013. 07. 26	公益第1回（第234回）常任理事会 ○ 協会設立30周年事業実行委員会（仮称）－「日中医学協会のあり方検討委員会」の設立について ○ 医療協力事業に関する会議での協議・確認事項について ○ 経済産業省の医療の国際化に係わる事業について ○ 協会会員の特典について ○ 「第1回日中東方栄養管理学術フォーラム」への特別共催について ○ その他 ・ 日本歯科医学会会長の当協会副会長就任について ・ 当協会会員の名刺への当協会名記載について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2013. 09. 27	公益第2回（第235回）常任理事会 ○ 協会の財務全般状況と資産運用について ○ 各委員会の運営状況について	全員一致了承 全員一致了承

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中笹川医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会日中医学協会のあり方検討委員会 ○ 2014 年度共同研究等助成事業の実施について ○ 公益財団法人移行後の常任理事会運営規則等の規程について ○ その他一年末寄付金について 	<p>全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承</p>
2013. 12. 13	<p>公益第 3 回（第 236 回）常任理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各委員会の運営状況について ・ 日中笹川医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会 ・ 日中医学協会のあり方検討委員会 ・ 事業計画・財務委員会 ○ 各委員会の委員任期について ○ 理事交代による理事会・評議員会(みなし決議)開催について ○ 会費未納者(連絡不通者を含む)の取扱いについて ○ 役員会等・各委員会の開催について ○ その他 ・ 日中医学協会副会長・顧問の理事会・評議員会への出席について ・ 日中医学協会のあり方検討委員会アドバイザーの補充選任について 	<p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承</p>
2014. 02. 27	<p>公益第 4 回（第 237 回）常任理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各委員会の運営状況について ・ 日中笹川医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会 ・ 広報委員会 ・ 日中医学協会のあり方検討委員会 ○ 第 4 回理事会の議案について ○ その他一経営諮問委員会の設置について 	<p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承 全員一致了承</p>

2013 年度委員会委員

1. 事業計画・財務委員会

- 委員長 酒谷 薫 業務執行理事、(日本大学工学部/日本大学医学部教授)
- 委員 江藤 一洋 業務執行理事、(アジアデンタルフォーラム理事長、MEJ 理事)
- 緒方 剛 評議員、(茨城県筑西保健所所長)
- 住吉金次郎 (佐田病院副院長)
- 林 謙治 業務執行理事、(国立保健医療科学院名誉院長)
- 山中 宣昭 (東京腎臓研究所所長)
- 正山 征洋 (長崎国際大学薬学部物質薬学分野薬品資源学教授)

小川 忍 (前日本看護協会常任理事)
姚 建 (山梨大学大学院医学工学総合研究部分子情報伝達学准教授)

2. 共同研究等助成事業委員会

委員長 武藤徹一郎 理事、(がん研究会業務執行理事、メディカルディレクター・名誉院長)
副委員長 跡見 裕 (杏林大学学長)
委員 五十嵐正広 (がん研究会有明病院内視鏡診療部部长)
金井 Pak 雅子 (東京有明医療大学看護学部看護学科長)
杉山 清 評議員、(星薬科大学教授)
菅村 和夫 (宮城県立がんセンター総長)
高本 眞一 (三井記念病院院長)
御子柴克彦 (理化学研究所脳科学総合研究センター シニア・チームリーダー)
安原 眞人 (東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部部长)
渡辺 純夫 (順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学教授)
渡邊 治雄 (国立感染症研究所所長)
渡邊 善照 (昭和薬科大学薬剤学教授)
担当理事 田平 武 業務執行理事、(順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学客員教授)

3. 日中医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会

委員長 江藤 一洋 業務執行理事、(アジアデンタルフォーラム理事長、MEJ 理事)
副委員長 酒谷 薫 業務執行理事、(日本大学工学部/日本大学医学部教授)
委員 岡野 友宏 (昭和大学名誉教授、アジアデンタルフォーラム専務理事)
田平 武 業務執行理事、(順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学客員教授)
日比 紀文 理事、(北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長)
平岡 眞寛 理事、(京都大学大学院医学研究科放射線医学教授)
ワグナー・バー 林 謙治 業務執行理事、(国立保健医療科学院名誉院長)

4. 広報委員会

委員長 丸 義朗 (東京女子医科大学医学部薬理学教授)
副委員長 緒方 剛 評議員、(茨城県筑西保健所所長)
委員 笠原 正貴 (慶應義塾大学医学部医化学特任講師)
小澤 邦壽 (群馬県衛生環境研究所所長)
範 江林 評議員、(山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学教授)
矢富 裕 (東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学教授)
山田 陽城 評議員、(北里大学名誉教授)
輪湖 史子 (日本看護協会国際部部长)
担当理事 林 謙治 業務執行理事、(国立保健医療科学院名誉院長)
ワグナー・バー 飯塚 陽子 (東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科助教)

事業報告の明細

ア 研究助成事業

1. 日中笹川医学奨学金制度

2007年8月26日、日本財団笹川陽平会長と中国衛生部蔣作君副部长により調印された「第3次日中笹川医学奨学金制度協定書」は第35期研究者の帰国をもって終了した。

2013年度は、2012年9月に来日した第35期研究者が研究修了・帰国（翌年8月）した。

1) 第35期研究者受入事業

(1) 来日

2012年9月4日(火) 30名来日

(2) 第25回箱根セミナーの開催

開催日：2013年3月1日(金)～3日(日)

場 所：ホテル箱根アカデミー

出席者：日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹連会等 45名
第35期研究者 27名

内 容：第一部では、研究者一人一人が自身の研究面・生活面について写真を見せながら日本語で発表した。第二部では、日本財団笹川会長の講演の後、研究者と在日笹川研究者連絡会が5グループに分かれて「笹川医学奨学金制度で学んだ経験をどのように日中共同研究に活かしていくか？」をテーマに、ワールド・カフェ方式でグループ別討論を行った。

(3) 研究報告会

開催日：2013年8月29日(木) 10:00～17:00

場 所：日本財団ビル 第1～4会議室

出席者：役員・委員・指導責任者等 64名
第35期研究者 30名

内 容：第35期研究者30名が田平 武業務執行理事を座長とする研究者報告会

で1年間の研究成果を発表した。各研究者は研究発表の前に、日本で1年間過ごした感想を日本語で発表した。研究成果は『日中笹川医学奨学金制度研究報告集 2012年度版』として発行した。

(4) 研究修了式・歓送会

開催日：2013年8月29日(木)

修了式 17:00～17:40

歓送会 18:00～19:30

場 所：日本財団ビル 第1～4会議室、食堂

出席者：役員・委員・指導責任者等 64名

第35期研究者 30名

内 容：尾形武寿日本財団理事長ご臨席の下、笹川記念保健協力財団 紀伊國献三会長から研究者に研究修了証が授与された。歓送会では、指導責任者、来賓らを交えて懇談した。また、日本語で発表した「日本滞在中の感想」において、以下の研究者3名を表彰した。

姜 洋 大阪大学大学院医学系研究科病態病理学

左 立 名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学

丁大勇 東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野

(5) 帰国

帰国日：2013年8月30日(金)

第35期研究者30名は、研究者自身の手配で各空港から離日、帰国した。

2) 日中笹川医学協力プロジェクト：日中笹川医学奨学金制度（第4次・第36期生）研究者募集及び選考

(1) 募集

2013年11月5日付公文が中国国家衛生和計画

生育委員会弁公庁名で中国各省衛生庁宛通知された。第 36 期研究者の募集は、旧衛生部の組織変更の影響を受け、通知が大幅に遅れたため、募集期間も短縮された（締切 2014 年 2 月 15 日）。

(2) 選考

開催日：2014 年 1 月 12 日(日)

場 所：亮馬河飯店（北京）

選考員：江藤一洋（業務執行理事）

林 謙治（業務執行理事）

韓 晶岩（北京大学教授 第 9 期笹川生）

陳 欣（北京積水潭潭医院教授

第 18 期笹川生）

岡田光子事務局次長、笹川同学会

李忠金秘書長が同席した。

内 容：15 名の応募があったが、8 名が面接試験を受けた。

評価項目基準：仕事/これまでの業績・成果等（30 点満点）、研究/目的の明確性、将来性等（30 点満点）、語学能力（40 点満点）、人間性（優、良、可、不可）で評価し、8 名全員が選考基準を満たした。また、語学能力については面接においても確認した。

(3) 来日前実施事業

ア) 語学研修

期 間：2014 年 2 月 24 日(月)～4 月 4 日(金)

場 所：衛生計生委中国医科大学日本語研修センター（遼寧省瀋陽市）

概 要：英語既習者が日本語研修を受講した。

日本語既習者は英語の自習とした。

※開校式に協会から本田事務局長が出席した。

イ) オリエンテーションの実施

期 間：2014 年 3 月 28 日(金)

場 所：衛生計生委中国医科大学日本語培训中心（遼寧省瀋陽市）

概 要：来日に向けての準備や日本滞在期間中の事項についてレクチャーした。オリエンテーションのため、江藤一洋教務執行理事、太田晶子協会職員を派遣した。

(4) 事業年度

研究開始、第 26 回（箱根）セミナー、外国医師・外国歯科医師臨床修練資格取得等については 2014 年度事業となる。

2. 共同研究等助成事業

1) 2013 年度共同研究等助成金受給者

2013 年度は助成対象分野を医学基礎系/薬学系とした。

(1) 調査・共同研究助成 6 件

共同研究等助成事業委員会の選考により、基礎医学系 4 件/14 件、薬学系 2 件/6 件、計 6 件を採択した（分母は応募件数）。

医学基礎系

- | | |
|--------|---|
| ① 雪 小峰 | 昭和大学医学部生化学助教 |
| 研究テーマ | 肝線維化における TGF- β 誘導性分子 Hic-5 の機能解析 |
| 共同研究者 | 李 波
瀘洲医学院付属病院肝胆外科教授 |
| ② 武部 豊 | 国立感染症研究所エイズ研究センター研究員 |
| 研究テーマ | 中国におけるエイズ流行の最新動向の調査研究と分子疫学に関する国際共同研究 |
| 共同研究者 | 邵一鳴
中国疾病予防控制中心エイズ研究センター教授 |
| ③ 潘 雷 | 東海大学医学部研究員 |
| 研究テーマ | 東アジア地域における ALS 関連遺伝子変異の大規模スクリーニング研究 |

- 共同研究者 陳 万金
福建医学大学附属第一病院神経内
科副主任医師・准教授
- ④ 馬 寧 鈴鹿医療科学大学・保健衛生学部教授
研究テーマ ヒ素曝露人群における健康リスク
の予測・早期診断法の探索
- 共同研究者 裴 秋玲
山西医学大学公共衛生学院教授

薬学系

- ① 村岡 修 近畿大学薬学部学部長・教授
研究テーマ 砂漠人参カンカニクジュヨウの糖
尿病予防および初期症状の改善効
果と作用メカニズムに関する研究
- 共同研究者 賈 曉光
新疆ウイグル自治区中薬民族薬研
究所所長
- ② 安井 正人 慶應義塾大学医学部薬理学教室
教授
研究テーマ リポ多糖刺激によるミクログリア
活性化におけるアクアポリン4の
役割
- 共同研究者 韓晶岩
北京大学医学部基礎医学院教授

(2) 若手在留中国人研究者助成 2件

共同研究等助成事業委員会の選考により、基礎医学系 2 件/17 件を採択した（分母は応募件数）。薬学系の応募は無かった。

医学基礎系

- ① 李 麗 東北大学病院放射線診断科
博士研究員
研究テーマ 頭蓋内胚細胞性腫瘍長期生存例の
T2*強調像 MRI 所見：全脳室照射
VS 全脳照射
- 指導責任者 高橋昭善
東北大学病院放射線診断科教授
- ② 楊 伶俐 大阪大学大学院医学系研究科
皮膚科大学院生
研究テーマ 結節性硬化症における白斑の病態

- 解明から結節性硬化症の治療薬開
発へ
- 指導責任者 片山一郎
大阪大学大学院医学系研究科皮膚
科教授

2) 2014 年度共同研究等助成事業選考

2014 年度は助成対象分野を臨床/社会/看護/歯
学系とし、応募数の割合で分野別受給者数を配
分した。

(1) 調査・共同研究助成 6 件

共同研究等助成事業委員会の選考（2014 年 3
月 4 日、p.17 参照）により、臨床系 3 件/17 件、
社会系 2 件/11 件、看護・歯学系 1 件/5 件、計 6
件を採択した（分母は応募件数）。

臨床系

- ① 佐野 元昭 慶應義塾大学医学部循環器内科
准教授
研究テーマ 免疫老化が加齢性疾患に及ぼす
影響の解明
- 共同研究者 陸 林
上海交通大学医学院附属瑞金医院
心臓内科教授
- ② 大須賀 穰 東京大学医学部産科婦人科教授
研究テーマ 小胞体ストレス応答の卵胞発育・
成熟過程における意義の解明と良
好胚選択マーカーとしての有用性
の検討
- 共同研究者 趙 琳
大連医科大学附属第二病院産婦人
科 教授
- ③ 詹 紅 東京大学附属病院循環器内科
特任研究員
研究テーマ 大動脈瘤・解離の発症・進展にお
ける Krüppel-like factor5 (KLF5)
の役割の解明と治療戦略の開発
- 共同研究者 鄭 斌
河北医科大学血管生物学講座教授

社会系			ンター大学院生
① 戸塚ゆ加里	国立がん研究センター研究所発がんシステム研究分野ユニット長	研究テーマ	精神疾患の病態解明と新規治療法の開発に関する研究」
研究テーマ	中国の食道・噴門部胃がん多発地域における DNA 付加体の網羅解析と発症要因の探索	指導責任者	橋本謙二 千葉大学社会精神保健教育研究センター教授
共同研究者	魏文強 中国協和医科大学中国医学科学院腫瘍研究所がん疫学教授	社会/看護/歯学系	
② 新添 多聞	京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門研究員	① 廖 文	大阪歯科大学歯科矯正学講座大学院生
研究テーマ	PM2.5 に対するヒト曝露評価モデルの開発	研究テーマ	In Vitro ヒト歯根膜様組織に対する至適矯正力の探索
共同研究者	王自発 中国科学院大気物理学研究所教授	指導責任者	松本 尚之 大阪歯科大学歯科矯正学主任教授
看護/歯学系		若手在留中国人研究者助成補欠	
① カルデナス暁東	大阪医科大学看護学部講師	① 董 加毅	大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室研究生
研究テーマ	日中における 2 型糖尿病患者の治療効果と QOL を高める『ファミリーパートナーシップ』看護援助システムの構築	研究テーマ	マルチビタミンサプリメント摂取と総死亡・がん死亡・循環器死亡との関連について
共同研究者	石貞仙 山西省人民医院看護部部長	指導責任者	磯 博康 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授
調査・共同研究助成補欠		3. 中国人医師・研究者招請事業	
① 周 馨麗	弘前学院大学看護学部助教	日中両国関係の状況により、特に推薦等がなく、実施を延期した。	
研究テーマ	中国都市部における高齢患者の退院支援に関する看護師の認識及びその課題		
共同研究者	芦鴻雁 中国寧夏医科大学総病院看護部部長		

(2) 若手在留中国人研究者助成 2 件

共同研究等助成事業委員会の選考により、臨床系 1 件/9 件、社会・看護・歯学系 1 件/5 件、計 2 件を採択した（分母は応募件数）。

臨床系

- ① 任 乾 千葉大学社会精神保健教育研究セ

イ 学術会議開催事業

1. 主催事業

1) 日中医学交流会議

経済産業省受託事業で実施予定であったが、事業採択されず、当年度は実施しなかった。経済産業省事業としては「医療機器審査交流会」を実施した。

参観先：黒龍江中医薬大学中医薬研究室
(王喜軍副学長(10期生)研究室)
黒龍江中医薬大学薬用植物園

第三部：イブニングセッション (19:30～21:00)

場 所：銀河賓館

テーマ：伝統医薬の科学的検証

参加者：24名(中国側13名、日本側11名)

座 長：酒谷 薫

日中医学協会業務執行理事、日本中医学会理事長

2. 共催・後援事業

1) 日中笹川医学協カプロジェクト：学術交流会

開催日：2013年8月3日(土)

場 所：黒龍江省ハルビン市

テーマ：民族医薬学術交流会

第一部：学術交流会 (08:30～12:00)

参加者：130名(中国側105名、日本側25名)

司 会：許 順 中国医科大学教授、
同学会副秘書長(15期生)

挨 拶：趙 群 中国医科大学学長、
同学会理事長(10期生)

馬曉偉 中国国家衛生和計画生育委
員会副主任

代読：戴維 国際合作司官員

魏新剛 黒龍江省衛生庁

尾形武寿 日本財団理事長

安達 勇 日中医学協会理事長

講演Ⅰ：渡辺賢治

慶應義塾大学環境情報学部教授

伝統医学の国際化

講演Ⅱ：王喜軍 黒龍江中医薬大学副学長

同学会副理事長(10期生)

Biological Evaluation System for Effective

Constituents of Chinese Medicines :

Chinmedomics (中医方証代謝組学)

講演Ⅲ：平馬直樹 日本中医学会会長

日本の中医学の現状

第二部：参観・見学 (14:00～16:30)

2) 2013年度医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2013年8月6日(火)～8月11日(日)

開催地：ホテル溪山閣(京都府京都市)

主 催：小太郎漢方製薬株式会社

後 援：日中医学協会、日本 TCM 研究所、天津中医学院

参加者：医学部学生 31名(18大学)、聴講医師 3名

3) その他の共催・後援事業

第1回日中東方栄養管理学術フォーラム

開催日：2013年11月16日(土)～17日(日)

開催地：中国同済大学附属東方医院(上海)

主 催：日中東方栄養管理研究所

特別共催：日中医学協会

日本貿易振興機構(JETRO 上海)

テーマ：日中両国における食事管理・栄養指導に関する現状と展望—「食事管理・栄養指導の学術交流と専門家育成に向けて」

ウ 医療協力事業

1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業（笹川同学会事業）

1) 中国国内研修事業

(1) 短期総合診療研修

- ・中国医科大学（瀋陽市/瀋北新キャンパス）

期 間：2013年11月10日(日)～12月6日(土)

受講者：25名

東北3省(遼寧省、黒龍江省、吉林省)、及び内モンゴル自治区の衛生サービスセンター等に勤務する医師

- ・中日友好医院（北京市）

期 間：2013年11月12日(火)～12月7日(土)

受講者：47名

河北省、河南省、陝西省、山西省、寧夏自治区の県級病院、人民病院等に勤務する医師27名及び北京近郊医師20名

専門家派遣：

日比紀文 北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター長（協会理事）が11月11日～14日の日程で訪問し、両研修会場で講演及び事業評価した。

(2) 短期診療技術・技能研修

- ・口腔一般：四川大学 華西口腔学院（成都市）

期 間：2013年11月17日(日)～29日(土)

受講者：20名

雲南省、貴州省、四川省、重慶市、の県級病院、人民病院等に勤務する歯科医師

専門家派遣：

江藤一洋 アジアデンタルフォーラム理事長（協会業務執行理事）が11月16日～19日の日程で訪問し、事業評価した。

- ・腹腔鏡：中南大学湘雅医院（長沙市）

期 間：2013年11月24日(日)～12月6日(土)

受講者：10名

江西省、広西チワン族自治区、湖北省、湖南省、安徽省の主に二級病院に勤務する医師10名

専門家派遣：

日比紀文 北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター長（協会理事）が12月2日～4日の日程で訪問し、講演及び事業評価した。

- ・産科救急：協和医科大学協和医院（北京市）

期 間：2013年12月1日(日)～7日(土)

受講者：20名

山西省、河北省、河南省、寧夏回族自治区、陝西省の主に二級病院に勤務する医師20名

日中医学協会派遣：

本田事務局長、太田事務局事業担当が12月4日～6日の日程で訪問し、研修授業の聴講及び要望聴取した。

(3) 中長期臨床研修

期 間：2013年9月～2014年2月

受講者：13名

総合内科3名（新疆人民医院/李南方, 7期生）、総合内科2名（延辺医学院/裴海成, 6期生）、中医内科2名（南京鼓楼医院/孫偉, 18期生）、小児科2名（上海第六人民医院/朱長林, 24期生）、一般外科2名（湖南旺旺医院/李永国, 1期生）、婦人科2名（中日友好医院/梁静, 31期生）

なお、眼科2名は、担当笹川生の急逝により中止となった。

※カッコ内は研修医院/担当笹川生

2) ボランティア診療

(1) 大規模診療

実施日：2013年8月9日(金)～12日(月)

場 所：遼寧省撫順市清源満族自治県人民医院

(梁徳仁院長)

概要：趙 群（中国医科大学学長・同学会理事長，10 期生、本診療総括）許順（同大学胸部外科教授・同学会副秘書長，15 期生）馬淑梅（同大学第二臨床学院心血管内科主治医師，23 期生）孫桂蓮（同大学附属第一臨床学院児科主治医師，25 期生）孟凡斌（同大学附属第一医院普通外科医師（助教），34 期生）王 軍（同大学附属第一医院神経内科主治医師，26 期生）扈曉燕（同大学附属第一医院婦人科医師）が参加した。

協会は、専門家 2 名（松橋和彦 長野県佐久総合病院内科医師、北相木村へき地診療所長及び顧艶紅 帝京大学医学部衛生学公衆衛生講座講師）を派遣し、講演を行った。

受診者：300 名

診療疾患：心筋梗塞、狭心症、大動脈瘤、大動脈解離などの心疾患、婦人病、小児の肥満・栄養不良、脳神経、甲状腺病機能障害、腎・消化器・前立腺疾患、整骨、腰痛など。

寄 贈：医薬品・医療器材(36,580 元)

(2) 小規模診療

①実施日：2013 年 8 月 16 日(金)～18 日(日)

場 所：北西地区：陝西省延安市安塞県建華鎮郷診療所

概要：張 軍（西安交通大学医学院第二附属医院消化器内科教授，11 期生）韓英（中国人民解放軍第四軍医大学第一附属医院消化器内科主治医師，25 期生）楊林海（山西省兒童医院小児内科主任，25 期生）常 玲（北京和睦家婦嬰医療保健中心主任，18 期生）陳 怡（同学会職員）が参加した。

受診者：400 名

寄 贈：医薬品・医療器材 (20,000 元)

要 望：次回のボランティア診療で医師の再教育や原因不明の病気について講演するよう求められた。

②実施日：2013 年 8 月 24 日(土)～25 日(日)

場 所：西南地区：四川省都江堰市都江堰中興鎮医院（都江堰骨損傷医院）

概要：羊裔明（四川大学華西医院血液内科教授，11 期生）丁群芳（同院老年医学教授，25 期生）袁益明（同院老年医学副教授，30 期生）胡秀英（同院教授・看護部主任，18 期生）、黄仲英（同院産婦人科副主任医師，29 期生）、付栄（四川省人民医院整形外科副主任医師，28 期生）、冉玉平（四川大学華西医院皮膚性病科教授，4 期生）、劉愛民（中国医学科学院輸血研究所教育培訓処副処長，8 期生）、李忠金（同学会秘書長，12 期生）が参加した。

講習会：丁群芳教授「高齢者の臨床特徴と老年医療の現状」

受診者：230 名

寄 贈：医薬品・医療器材(20,000 元)

要 望：今後定期指導を受けたいとの事であった。たとえば、2 ヶ月ごとに（あるいは四半期ごとに）専門家チームを形成し、基層病院に勤務する医師の再教育、病室を巡回することや原因不明の病気について講演するよう求められた。

3) 事業監査

(1) 2012 年度事業監査

実施日：2013 年 6 月 3 日(月)

場 所：笹川同学会北京事務所

協 会：本田伸吾（事務局長）、小野須磨子（財務会計担当）

同学会：李忠金（秘書長）、陳 怡（会計担当）、李 洪（公認会計士）、周 英（通訳）

概要：予算に対応する証憑書類の整理方法、諸規程の整備等の要改善事項を付して、中国の関係法令並びに「笹川医学奨学金進修生同学会運営助成に関する協定書」及び協定書附属「覚書」に対する違反事項はなかったと認められた。

(2) 2013 年度事業中間監査

実施日：2013 年 10 月 15 日(火)～18 日(金)

場 所：笹川同学会北京事務所

協 会：本田伸吾（事務局長）、小野須磨子（財務会計担当）、叢蘭（通訳）

同学会：李忠金（秘書長）、陳怡（会計担当）、李 洪（公認会計士）、周 英（通訳）

概要：2013 年度から開始した笹川同学会事業の進行状況の確認を行った。会計に関して、2012 年度までの運営助成とは制度が異なるので、公認会計士指導の下、中国の関係法令を順守し、日本と中国の会計体系や管理体制の違いを認識しつつ、日本財団の助成マニュアルに沿った基準を満足するよう整備していくことを確認した。

4) 笹川同学会在日研究者連絡会（笹連会）

2013 年度より「笹川同学会日本支部」と改称された。

(1) 第 35 期研究者研究報告会・修了式への出席

2013 年 8 月 29 日(木)、日中笹川医学奨学金制度第 35 期生研究報告会・修了式に出席した。

(2) 漢方セミナー（新規事業）の開催

① 第 1 回漢方セミナー

2013 年 4 月 13 日に兵庫県立看護大学地域ケア開発研究所で開催。在日外国人、第 35 期笹川生、兵庫県立看護大学教職員・学生等約 30 名が出席した。

② 第 2 回漢方セミナー

笹連会東京本部、関西支部、北海道支部合

同で、6 月 29 日に北海道大学医学部で開催。北海道大学で漢方を用いて臨床研究を行っている教授・助教が各々講演を行った。漢方関連企業役員・研究員、北海道大学教職員・学生等約 30 名が出席した。

2. 経済産業省の医療の国際化に係わる事業

当年度の事業採択が参議院議員通常選挙等の影響により採択が遅れ、事業実施が 7 月からとなり、以下の事業を実施した。

1) 医療機器・サービス国際化推進事業「中国における医療関連官民ミッション企画・実施」

(1) 日中医療機器審査交流会

日 時：2013 年 10 月 17 日(木) 15:00～18:00

場 所：長富宮飯店（中国北京市）

主 催：公益財団法人日中医学協会

中国医薬国際交流与合作中心

共 催：経済産業省

協 力：一般社団法人 Medical Excellence JAPAN

中国日本商会メディカルグループ・

医療機器連絡会

後 援：厚生労働省 駐中国日本国大使館

(独)医薬品医療機器総合機構

参加者：中国在住の日本企業薬事担当者、

中国薬事行政関係者 日本大使館等

目 的：日中薬事関連法規の相互理解及び意見交換

講 演：

① 境啓満

厚生労働省医薬食品局審査管理課医療機器審査管理室企画調整専門官

「薬事法における医療機器規制とその改正の動きについて」

② 王蘭明

国家食品薬品監督管理総局医療器械注冊管理司司長

「医療機器登録管理法規展望」

- ③ 曹国芳
国家食品薬品監督管理総局医療器械技術
審評センター副主任

「CFDA の医療機器技術審査機構および審
査業務の現況」

- ④ 田村敦史
独立行政法人医薬品医療機器総合機構
関西支部支部長
「PMDA における医療機器審査と革新的医
療機器導入へのアプローチ」

日本企業から経営管理者・薬事担当者等 105
名の参加者があり、高評価を得て、定期的な交
流会の必要性が求められた。

(2) 日中医療関係者交流会

日 時：2013 年 12 月 19 日(木) 15:15～17:45
場 所：中華人民共和国北京市 長富宮飯店
主 催：公益財団法人日中医学協会
中国医薬国際交流与合作中心
共 催：経済産業省
協 力：一般社団法人 Medical Excellence JAPAN
日本商会メディカルグループ

後 援：厚生労働省、在中国日本国大使館

① SESSION1 「介護制度の現状と展望」

講 演：

西川昌登 在中国日本国大使館経済部一等書
記官「日本の介護制度について」

パネルディスカッション：

「現場から見た高齢者介護の課題—日中経験
の共有化に向けて—」

座 長：

沈 潔 日本女子大学教授

パネラー

胡秀英（四川大学華西医院護理学院院長）、
張 亨（聯想企業安信頤和運營管理部総経
理）、朴春花（北京市博愛医院総合リハビリ
テーション科主任医師）、西川昌登（在中國
日本国大使館経済部一等書記官）

② SESSION2 「中国医療改革の現状と展望」

講 演：秦 坤 中国国家衛生・計画生育委員
会体制改革司政策組副処長

③ 懇親交流会

講 演：

江藤一洋 一般社団法人 Medical Excellence
JAPAN (MEJ) 理事

「MEJ 事業紹介」

趙 群 笹川医学奨学金進修生同学会理事長、
中国医科大学学長

「中国医療の現状と今後の日中の医療協力に
ついて」

懇親交流会：

木寺昌人 在中国日本国特命全権大使等約 130
名出席

SESSION1・2 は、日本企業から経営管理者層
及び笹川医学奨学金進修生同学会生等約 130
名の参加者があり、10 月 17 日開催の「日中
医療機器審査交流会」同様に高評価を得た。本
セミナー・交流会が、その後、日本企業の具
体的なビジネス展開の橋渡しとなっている。

2) 日中医療交流協議会

(1) 委員会の開催

開催日：2014 年 2 月 6 日(木)

場 所：JA ビルカンファレンス 303 会議室

報告事項：2013 年度事業報告

① 日中医療機器審査交流会

② 日中医療関係者交流会

協議事項：今後の事業展開について

① CFDA（中国国家食品薬品監督管理総局）
との定期的な交流の必要性

② 中国国内における医学医療研修の実施

③ 拠点の設置（「日中医学医療協力推進
機構（仮称）」、中国国内に設置）

出席者：

安達 勇 静岡県立静岡がんセンター
緩和医療科参与

江藤 一洋 アジアデンタルフォーラム理事
長 座長

近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長
 酒谷 薫 日本大学教授
 森山 紀之 東京ミッドタウンクリニック 健診センターセンター長
 オブザーバー
 保坂 明 経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課課長補佐
 榎谷 晴子 経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課係長
 太田 富雄 厚生労働省医政局総務課医療国際展開戦略室係長
 高木 庸介 厚生労働省医政局総務課医療国際展開戦略室係長
 永田 翔 厚生労働省医政局総務課医療国際展開戦略室主査
 藏田 大輔 外務省アジア大洋州局中国・モンゴル二課
 小松 康弘 野村総合研究所コンサルティング事業本部公共経コンサルティング部グループマネージャー
 事務局 日中医学協会

3) 事業報告書

平成 25 年度日本の医療機器・サービス国際化推進事業「中国における医療官民ミッション企画・実施」(2014 年 2 月)を事業契約先である(株)野村総合研究所へ提出した。

3. 専門家派遣事業

(1) 学術会議及び日中笹川医学協力プロジェクトに係わる専門家の派遣 (p9~11 の通り)

(2) その他の派遣事業

- ① 中日医学先端医療技術発展論壇(中日医学先端技術発展フォーラム)への派遣
 開催日：2013 年 5 月 10 日(金)
 場 所：中日友好医院
 派遣者：京都大学大学院医学研究科放射線

腫瘍学画像応用治療学教授

講演：

平岡真寛「海外における医療技術の発展ハイエンド腫瘍治療技術の現状」、申文江(中日友好医院教授)「我が国の腫瘍技術の発展」

4. 医療関連訪日者招請事業

1) 医療関連訪日団招請

2013 年度は、5 件の訪日団の招聘や病院視察等の手配を行った。

(1) 中山大学附属腫瘍医院訪日団

目 的：日本の病院管理についての研修

期 間：2013 年 4 月 2 日(火)~8 日(月)

訪日先：国立がん研究センター中央病院(参観)
 国際医療福祉大学(講義)
 高橋泰教授

「医療経営や医療制度の国際比較について」

訪日者：彭望清(中山大学附属腫瘍医院副院长)ら 3 名

(2) 2013 年度(中華人民共和国国別研修)国家級公衆衛生政策計画管理プロジェクト(突発的公衆衛生課題)訪日団(JICA 研修事業)

目 的：①突発的かつ重大な感染症の体制と事例を理解する。

②災害等の危機状況下における公衆衛生を理解する。

③地方自治体における公衆衛生課題への対応を理解する。

期 間：2013 年 6 月 19 日(水)~7 月 4 日(木)

訪日先：厚生労働省健康危機管理対策室、国立国際医療研究センター国際感染症センター、国立感染症研究所、国立保健医療科学院、東京都健康安全研究センター、人と防災未来センター(兵庫県)、兵庫県災害医療センター、兵庫県庁、大阪府公衆衛生研究

所、神戸市立医療センター中央市民病院、(独)年金・健康保険福祉施設整理機構、川崎市健康安全研究所、茨城県筑西保健所、国立病院機構災害医療センター、日本医師会

訪日者：徐 敏（中国国家衛生和計画生育委員会応急弁公室副処長）ら地方衛生局（庁）応急弁公室主任等 10 名

(3) 河南科技大学第一附属医院訪日団

目 的：がんセンター新設に先立ち日本の病院構造・システムについて視察

期 間：2013 年 7 月 11 日(木)～18 日(水)

訪日先：慶應義塾大学病院予防医療センター、静岡県立静岡がんセンター、日本赤十字社医療センター

訪日者：史海軍（河南科技大学第一附属医院副院長）ら 7 名

(4) 河南科技大学第一附属医院訪日団

目 的：第 51 回日本癌治療学会学術集会参加

期 間：2013 年 10 月 19 日(土)～27 日(日)

訪日先：岡山大学病院・静岡県立静岡がんセンター参観、学会参加（京都）

訪日者：馮笑山（河南科技大学第一附属医院院長）ら 8 名

(5) 北京泰德製薬株式会社派遣医師団

目 的：日本臨床麻酔学会第 33 回大会参加

期 間：2013 年 10 月 31 日～11 月 4 日

訪日先：グランドプリンスホテル新高輪

訪日者：鄭 曼（江蘇省中医院麻酔科主任）、倉 静（復旦大学附属中山医院）

2) 中国人医療関係者訪日招請

2013 年度は、5 件の訪日者（個人）の視察・研修・セミナー参加等の手配を行った。

(1) 中日友好医院派遣医師

目 的：研修

期 間：2013 年 9 月 25 日(水)～2014 年 9 月 19

日(金)

研修先：東京大学医学部附属病院呼吸器外科

研修者：強光亮（胸部外科研修医）

(2) 浙江省腫瘤医院派遣医師

目 的：研修

期 間：2013 年 9 月 25 日(水)～12 月 20 日(金)

研修先：静岡県立静岡がんセンター放射線治療科

研修者：封 巍（放療科副主任医師）

(3) 河南科技大学第一附属医院派遣医師団

目 的：研修

期 間：2013 年 10 月 15 日(火)～23 日(水)

研修先：静岡県立静岡がんセンター胃外科

研修者：王公平（腫瘍外科主任）ら 3 名

(4) 山東省医学映像学研究所派遣者

目 的：視察

期 間：2013 年 12 月 4 日(水)～7 日(土)

訪日先：東京都内医療施設

訪日者：趙 斌（山東省医学映像学研究所所長）

(5) 中日友好医院派遣医師

目 的：セミナー参加

期 間：2013 年 12 月 13 日(金)～15 日(日)

訪日先：第 4 回次世代の内視鏡下消化管手術セミナー（東京大学）

訪日者：姚 力（消化器内視鏡センター副主任医師）

5. 訪中団派遣事業

(1) 第 4 回伝統医学視察団 in ハルビン

主 催：日中医学協会

後 援：日本中医学会

期 間：2013 年 8 月 1 日(木)～4 日(日)

視察先：黒竜江省ハルビン市

参観先：黒龍江中医薬大学附属第一医院、黒龍江中医薬大学中医薬研究室（王喜

軍副学長(10 期笹川生)研究室、黒龍江中医薬大学薬用植物園

参加者：安達勇理事長ら全 20 名

参観先：呼和浩特市；内蒙古医学院附属医院、内蒙古国際蒙医医院

その他：同学会学術交流会・イブニングセッションに出席 (p.7 参照)

6. 日中乳幼児栄交流事業

日中両国関係の状況により昨年度に引き続き実施を延期した。

エ 広報事業

1. 機関誌『日中医学』の発行

機関誌『日中医学』第 28 巻 1～4 号を以下の通り発行した。

第 1 号 (2013 年 8 月)

特集「日中における基礎及び臨床医学研究制度の現状」

第 2 号 (2013 年 11 月)

特集「日中における病院の評価について」

第 3 号 (2013 年 12 月)

特集「日中における糖尿病診療の現状」

第 4 号 (2014 年 3 月)

特集「日中における伝統薬物によるがん治療の現状」

2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行

機関紙『NEWS LETTER』No.30～No.32 を以下の通り発行した。

No.30 (2013 年 4 月発行)

記事「公益財団法人として新たな門出～援助から互惠へ～」他

No.31 (2013 年 8 月発行)

記事「日中笹川医学協カプロジェクト発足」他

No.32 (2013 年 12 月発行)

記事「2014 年度共同研究等助成金募集にあたって」他

3. 中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信

中国の医療機関・医療関係者に機関誌『日中医学』の特集ページ(中国語部分)を約 1500 名にメール配信した。

4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力

Sponsoring Organization として協力した。

委員会開催報告

1. 事業計画・財務委員会

日 時：2013年12月10日(火) 18:00～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員長他委員8名

議 題：

報告事項

- ① 2013年度事業計画の進捗状況について
- ② 2013年度9月期中間決算及び年度収支見込みについて

協議事項

- ① 2014年度事業計画の方向性について
 - ② 2014年度収支予算の方向性について
 - ③ 本委員会の任期と次期委員会について
- 事業計画・財務委員会は、2014年2月27日開催の第237回(公益第4回)常任理事会において、本委員会の機能を常任理事会に吸収統合することが検討/了承され、2014年3月14日開催の公益第4回理事会で承認された。

2. 共同研究等助成事業委員会

日 時：2014年3月4日(火) 15:00～16:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員長他委員5名、委任状出席4名

報告事項：

- ① 2013年度助成事業に関する報告事項

審議事項：

- ① 2014年度共同研究等助成事業選考
- 2014年度は助成対象分野を臨床/社会/看護/歯学系とし、応募数の割合で分野別受給者数を配分した。

・調査・共同研究

共同研究等助成事業委員会の選考により、臨床系3件/17件、社会系2件/11件、看護・歯学系1件/5件、計6件を採択した(分母は応募件数)。

・若手在留中国人研究者助成

共同研究等助成事業委員会の選考により、臨

床系1件/9件、社会・看護・歯学系1件/5件、計2件を採択した(分母は応募件数)。

3. 日中医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会

1) 第1回委員会

日 時：2013年6月24日(月) 17:00～19:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員長他委員3名、委任状出席2名

概 要：副委員長に酒谷 薫委員を選定した。

協議事項：

- ① 笹川同学会事業について(同学会事業の運営方法、プロジェクト実施・審査委員会、各事業の日程、他)
- ② 笹川奨学金事業の第3次制度と第4次制度との運営上の違い、人材育成の目的・対象者、制度のあり方等について協議確認した。
- ③ 経済産業省の受託事業内容について
- ④ 中日友好医院との今後の協力体制について

2) 第2回委員会

日 時：2013年9月26日(木) 15:00～17:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員長他委員3名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 笹川同学会事業(専門家の派遣)について
- ② 笹川奨学金事業について第36期生の募集・選考について協議確認した。

3) 第3回委員会

日 時：2014年1月21日(火) 17:00～19:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員長他委員5名、オブザーバー1名

協議事項：

- ① 笹川奨学金事業について、第36期生の選考結果承認、第36期生の入国から帰国までの事業内容、第37期生募集に向けての要改善事項について協議確認した。

- ② 本委員会の名称について、「医療協力事業運営委員会」へ簡称変更を、理事会に答申することを決定した。

4. 広報委員会

1) 第1回委員会

日 時：2013年6月25日(火) 18:00～19:30

場 所：学士会館307号室

出席者：副委員長他委員等8名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 『日中医学』VOL.28の掲載記事について
- ② 『日中医学』VOL.28の広告掲載について
- ③ 『NEWS LETTER』NO.31の発行について
- ④ WPRIM等への『日中医学』掲載について

2) 第2回委員会

日 時：2013年10月29日(火) 18:00～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員長他委員等7名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 『日中医学』VOL.29の掲載記事について
- ② 『日中医学』VOL.29の広告掲載依頼先について
- ③ 『日中医学』投稿規定への追加項目について
- ④ 『NEWS LETTER』NO.32の掲載内容について
- ⑤ 広報委員会委員の任期について

3) 第3回委員会

日 時：2014年2月18日(火) 18:00～19:30

場 所：学士会館307号室

出席者：委員長他委員等10名、委任状出席1名

協議事項：

- ① 『日中医学』VOL.29 NO.3～NO.4の掲載記事について
- ② 『日中医学』VOL.29の広告掲載依頼先について

ついて

- ③ 『NEWS LETTER』の発行について
- ④ 『日中医学』の文献検索サイトへの掲載について
- ⑤ 『医学実用辞典』の『日中医学』掲載依頼への対応について
- ⑥ 広報委員会委員の追加について

総務報告

I. 財務基盤の拡充につて

A. 会員拡大と募金活動

会員数の推移

	13年3月 末現在	2013年度 入退会	14年3月 末現在
名誉会員	7名	入会 0名 退会 0名	7名
個人会員	497名	入会35名 退会41名	471名
法人会員	72社	入会 4社 退会 9社	67社
特別会員	3社	入会 0社 退会 0社	3社

募金活動

一般寄付金・年末寄付金

団体・法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した共同研究等助成事業、医療協力事業、広報事業等及び法人会計に充当した。

- 1) 一般寄付金 合計 5,000,000 円
 - a. 団体・法人 1社 計 1,000,000 円
 - b. 個人 1名 計 4,000,000 円
- 2) 年末寄付金 合計 1,130,000 円
 - a. 団体・法人 5社 計 310,000 円
 - b. 個人 59名 計 820,000 円

B. 日本財団に対する助成金申請

2014年2月19日付で2013年度助成金申請に対する助成金交付決定及び審査結果の通知があった。

- ①日中笹川医学協力プロジェクトに対する助成
助成金額 65,880,000 円

②基盤整備事業

助成金額 32,570,000 円

①+②計 98,450,000 円

C. その他事業の検討

日中医学協会のあり方検討委員会で検討した(2014年度継続, p.3 参照)。

1) 第1回委員会

日時: 2013年8月30日(金) 15:00~17:00

場所: 協会事務所会議室

出席者: 委員3名

議事:

- ①委員長の互選
- ②委員会の進め方(検討方法)について
 - ・近藤委員レクチュア
(レギュラとリーサイエンスについて)
 - ・進め方についての合意形成

2) 第2回委員会

日時: 2013年11月1日(月) 15:00~17:00

場所: 協会事務所会議室

出席者: 委員等5名

議事:

- ①外部識者からの意見聴取
高橋 進氏 日本画像医療システム工業会
(JIRA) 国際委員会委員長
——中国医療機器市場の最新状況と日中医学協会への要望事項
- ②協会が何を期待され、どの様なことができるのか、議論を深掘りするために、外部識者から意見を聴取し、それに基づいて質疑/議論した。

3) 第3回委員会

日時: 2014年2月17日(月) 15:00~17:00

場所: 協会事務所会議室

出席者: 委員等5名

議事:

- ①外部識者からの意見聴取

評議員 庄田 隆氏
第一三共(株)代表取締役会長
——「日中医学協会への期待～製薬企業の立場から～」
②庄田氏のご意見/示唆に対する質疑と討議を行った。

公益財団法人移行記念祝賀会を開催、協会新旧役員、個人会員、法人会員等 115 名が出席した。

意見聴取を今回で一応終了し、次回委員会は「あり方イメージ」の方向性を定めることとなった。

II. 協会運営に係る事項

A. 各委員会の設置及び各委員の委嘱並びに各委員会規程等の改訂

1. 各委員会の設置及び各委員の委嘱

2013年4月1日開催の公益第1回（第56回）理事会及び2014年3月14日開催の公益第4回（第59回）理事会で決議した（事業報告書 p.5～6 参照）。

2. 各委員会規程及び諸規則等の改訂

2013年4月1日開催の公益第1回（第56回）理事会、2013年5月16日開催の公益第2回（第57回）理事会、2014年3月14日開催の公益第4回（第59回）理事会で決議した（事業報告書 p.5～6 参照）。

B. 事務局の設置及び委嘱

2013年4月1日開催の公益第1回（第56回）理事会で決議した（事業報告書 p.5 参照）。

C. 公益事業の拡充に係わる検討

日中医学協会のあり方検討委員会で検討した（2014年度継続, p.3 参照）。

D. 公益財団法人移行記念祝賀会の開催

2013年6月13日(木)にホテルニューオータニで

別紙 日中笹川医学奨学金制度第35期研究者名簿 (2012年9月~2013年8月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
研究テーマ			
金海燕	浙江大学医学院附属儿童医院麻醉科主治医师	北海道大学大学院医学研究科救急医学	丸藤 哲 教授
敗血症、外傷、心肺停止蘇生等における臓器不全発症機序の解明			
劉 涛	中国医科大学附属第一医院泌尿外科副主任醫師	弘前大学大学院医学研究科分子生体防御学	伊東 健 教授
泌尿器腫瘍細胞で代謝経路とNrF2介する酸化ストレス経路が互いに作用するメカニズム			
霍 翔	江蘇省疾病予防控制中心急性伝染病防制所主管醫師	東北大学大学院医学系研究科微生物学	押谷 仁 教授
Interaction between biomarkers of influenza and other respiratory viruses and human immunogenetic polymorphisms on susceptibility and severity of infections, a molecular epidemiological study			
丁 大勇	吉林大学中日聯誼医院胃腸外科主治醫師	東北大学大学院医学系研究科分子病態外科学分野	福島浩平 教授
潰瘍性大腸炎の病因病態の解明			
張 曦	中国人民解放軍第四軍医大学第一附属医院整形外科主治醫師	千葉大学大学院医学研究院整形外科	佐藤兼重 教授
口唇口蓋裂および頭蓋顔面変形治療の新しい治療倫理と方法			
趙 明	中国人民解放軍総医第一附属医院神経外科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科脳神経外科学	斉藤延人 教授
1.Surgical resection of brain tumors in eloquent area 2.Genological study of the brain tumor			
黄 海波	煙台毓璜頂医院胸外科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科吸器外科学	中島 淳 教授
肺がんの臨床研究および免疫療法の研究			
鐘 躍思	中山大学附属第三医院肝胆外科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科肝胆腫外科学・人工臓器移植外科学	國土典宏 主任教授
高度画像解析技術を用いた肝細胞癌診断システム開発の基礎と臨床的研究			
張 春瑜	中日友好医院院弁医療発展弁公室研究実習員	東京大学大学院医学系研究科臨床疫学経済学(公衆健康医学)	橋本英樹 教授
支払制度が及ぼす病院生産性への影響の検討			
王 芳	山東大学齊魯医院放射科主治醫師	東京大学医学研究所附属病院放射線科・放射線部	桐生 茂 准教授
MRI、光イメージングを用いた小動物イメージングの研究			
趙 棟	首都医科大学附属北京同仁医院重症医学科(中心ICU)主治醫師	東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部	三高千恵子 部長
人工呼吸管理患者人工呼吸器関連性肺炎(VAP)の予防対策			
丁 江峰	深圳市南山区人民医院口腔科主治醫師	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髄生物学	須田英明 教授
Laser application in root canal disinfection			
丁 雪芳	北京積水潭医院口腔科住院醫師	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学	森山啓司 教授
Treatment-a study of micro CT			
陸 楽	中国人民解放軍南京軍区南京総医中中西医结合科住院醫師	慶応義塾大学医学部リウマチ内科	竹内 勤 教授
免疫学、膠原病学の研究			
程 嬌影	中日友好医院婦産科主治醫師	東京医科大学大学院医学研究科産科婦人科学	井坂恵一 主任教授
卵巣癌に対する薬剤耐性克服の検討			
王 邵華	上海市第一人民医院胸外科主治醫師	国立がん研究センター中央病院消化管腫瘍科(食道外科)	日月裕司 副科長
食道外科			
劉 翔宇	中国人民解放軍南京軍区南京総医神経外科主治醫師	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科	大槻泰介 部長
てんかん外科治療の実際			
苑 宇哲	中国医学科学院輸血研究所輸血伝染病研究中心助理研究員	国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部ウイルス安全性研究室	佐遊敬介 室長
バイオ医薬品のウイルス安全性に関する研究			
楊 婷婷	山東省青島市疾病予防控制中心病原微生物検疫科主管技師	国立感染症研究所ウイルス第二部	李 天成 主任研究官
E型肝炎ウイルス分子生物学の研究			
蔣 海山	南方医科大学南方医院神経内科主治醫師	新潟大学脳研究所病理学	高橋 均 教授
Central Nervous System Infections and Parkinson Disease: Neuropathology and Neuroimmunology			
杜 莉	上海市婦女保健所産科質量管理与信息科研究実習員	金沢医科大学衛生学	山田裕一 教授
職業女性における抑うつと不安が出生児の体重に与える影響			
左 立	南京医科大学附属常州第二人民医院泌尿科主治醫師	名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学	郡健二郎 教授
遺伝・環境要因からみた尿路結石形成機序の統合的解明と新規治療薬の開発			
王 俊	中国人民解放軍南京軍区南京総医心血管内科主治醫師	京都大学大学院医学研究科循環器内科学	木村 剛 教授
心血管疾患におけるmicroRNAの働きの解明			
許 松	中国人民解放軍南京軍区南京総医泌尿科主治醫師	京都大学大学院医学研究科泌尿器科学	小川 修 教授
前立腺癌におけるERK5-NFKB-cox2経路の重要性についての解析			
薛 鵬	上海市第一人民医院腫瘍科主治醫師	京都大学大学院医学研究科臨床腫瘍薬理学	金井雅史 特定講師
膵癌細胞に対するクルクミンの抗がん作用に関する研究			
姜 洋	哈爾濱医科大学基礎医学院病理教研室講師	大阪大学大学院医学系研究科病態病理学	青笹克之 教授
早期肺線癌における腫瘍幹細胞マーカーALDH1の臨床病理学的意義			
胡 春穎	山東省千佛山医院康復二病房主管護師	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成人看護学(慢性期)	清水安子 教授
慢性病患者の看護に関する研究			
謝 成婕	広東省口腔医院牙周科主治醫師	大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学	村上伸也 教授
歯周組織再生療法に関する研究			
毛 莉	淮安市第一人民医院内分泌科主治醫師	近畿大学医学部再生機能医学	梶 博史 教授
ビタミンD不足による糖尿病発病の分子メカニズムについて			
伍 洲煒	上海市第一人民医院皮膚性病科主治醫師	九州大学大学院医学研究院皮膚科学	古江増隆 教授
皮膚疾患とAhRに関する研究			

役員等名簿（五十音順）

評議員 池田 裕 磯子中央病院名誉院長
// 石井 正三 公益社団法人日本医師会常任理事
// 石館 光三 公益社団法人東京生化学研究会常務理事
// 一戸 達也 東京歯科大学副校長
// 稲葉 裕 順天堂大学名誉教授
// 緒方 剛 茨城県筑西保健所所長
// 金井 隆典 慶應義塾大学教授
// 黒川 顕 日本医科大学武蔵小杉病院院長
// 洪 愛子 公益社団法人日本看護協会常任理事
// 杉山 清 星薬科大学教授
// 庄田 隆 第一三共株式会社代表取締役会長
// 曾根 智史 国立保健医療科学院企画調整主幹
// 高橋 和久 順天堂大学教授
// 高松 研 東邦大学医学部長
// 寺本 明 東京労災病院院長
// 中島 信也 公益社団法人日本歯科医師会常務理事
// 根本 則道 日本大学教授
// 範 江林 山梨大学教授
// 藤原 英憲 公益社団法人日本薬剤師会常務理事
// 山口 建 静岡県立静岡がんセンター総長
// 山田 陽城 北里大学名誉教授

会 長（代表理事） 森岡 恭彦 日本赤十字社医療センター名誉院長
理事長（代表理事） 安達 勇 静岡県立静岡がんセンター参与
副会長 大久保満男 日本歯科医師会会長
// 児玉 孝 公益社団法人日本薬剤師会会長
// 坂本 すが 公益社団法人日本看護協会会長
// 住友 雅人 公益社団法人日本歯科医師会会長
// 高久 史麿 日本医学会会長
// 横倉 義武 公益社団法人日本医師会会長

- 理事 池谷田鶴子 順天堂大学国際交流センター運営委員
- 〃 江藤 一洋 一般社団法人アジアデンタルフォーラム理事長
- 〃 大柳 治正 近畿大学名誉教授
- 〃 小川 秀興 順天堂大学理事長
- 〃 尾身 茂 独立行政法人地域医療機能推進機構理事長
- 〃 木村 政之 日本製薬団体連合会理事長
- 〃 近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長
- 〃 酒谷 薫 日本大学教授
- 〃 篠崎 英夫 一般社団法人日本公衆衛生協会理事長
- 〃 高久 史磨 日本医学会会長
- 〃 田平 武 順天堂大学客員教授
- 〃 橋本敬太郎 山梨大学名誉教授
- 〃 林 謙治 国立保健医療科学院名誉院長
- 〃 日比 紀文 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長
- 〃 平岡 真寛 京都大学教授
- 〃 星合 昊 富田林病院院長
- 〃 松原 謙二 公益社団法人日本医師会副会長
- 〃 武藤徹一郎 公益財団法人がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長
- 〃 森山 紀之 独立行政法人国立がん研究センター客員研究員

- 監事 金井 淨 公認会計士
- 〃 杉本 恒明 公立学校共済組合関東中央病院名誉院長

- 顧問 趙 群 中国医科大学学長
- 〃 津田 喬子 公益社団法人日本女医会会長

2013年度事業報告附属明細書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2014年5月12日
発行人 安達 勇
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3 住泉KMビル6階